

令和元年度 被爆体験継承事業 企画展

ヒロシマの記憶を伝える ～町と人々の暮らし～



「相生橋東詰の広島商工会議所の最上階から撮影」(昭和13年ころ)
広島寫真館 松本若次/撮影

開催期間

令和元年7月6日(土)～9月1日(日)

入場無料

【期間中の休館日】 月曜日(7月15日・8月12日を除く)、7月16日(火)、7月31日(水)、8月13日(火)

【期間中の開館時間】 火～金/9:00～19:00

土・日・7月15日(月・祝)・8月6日(火)・8月12日(月・休)/9:00～18:00

9月1日(日)/9:00～17:00

会場

広島市立中央図書館 2階 展示ホール

(広島市中区基町3番1号)

関連イベント「ヒロシマの記憶を伝えること」

日時 令和元年7月21日(日)13:00～15:00

内容 渡邊英徳氏(東京大学大学院情報学環教授)とアーサー・ビナード氏(詩人)の対談や
庭田杏珠さん(広島女学院高等学校3年生)のプレゼンテーションなど

※申込方法など、詳細は
裏面をご覧ください。

企画展／2階 展示ホール

被爆直後の広島では、町やそこで生活していた人々が存在したとは思えないほど、原爆によって一面が焦土と化し、町の面影は消えてしまいました。

この企画展では、「被爆前後の町と人々の暮らし」に焦点をあて、町の存在や人々の日常の暮らし等を身近なものとして実感できるよう、所蔵資料や写真パネルで紹介します。



「広島中島新地相生橋之図」
（「広島諸商仕入買物案内記」 1883年）
広島市郷土資料館／提供



「広島」本通り（絵はかき）
大正～昭和（戦前）



「消えた町 記憶をたどり」
森富 茂雄／絵と証言
ヒロシマ・フィールドワーク実行委員会／編
ヒロシマ・フィールドワーク実行委員会 2011年



「さがしています」
アーサー・ピナード／作・岡倉禎志／写真
童心社 2012年



「産業奨励館と兄弟」
酒井徳三／提供

関連イベント「ヒロシマの記憶を伝えること」／3階 セミナー室 定員60名(先着順・無料)

渡邊英徳氏（東京大学大学院情報学環教授）とアーサー・ピナード氏（詩人）の対談や庭田杏珠さん（広島女学院高等学校3年生）のプレゼンテーションなどで「ヒロシマの記憶」を伝え続けていくことについて考えます。

日 時／令和元年7月21日(日) 13:00～15:00

プログラム

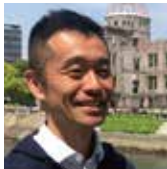
- ① プレゼンテーション 渡邊 英徳氏（東京大学大学院情報学環教授）「情報デザインとデジタルアーカイブ」
アーサー・ピナード氏（詩人）「『紙芝居のはじまり!はじまり!』—『ちっちゃい こえ』ができるまで」
- ② 対 談 渡邊 英徳氏×アーサー・ピナード氏
- ③ 上 映 「記憶の解凍」
- ④ プレゼンテーション 庭田 杏珠さん（広島女学院高等学校3年生）「『記憶の解凍』～カラー化写真で時を刻み、息づき始めるヒロシマ～」
- ⑤ 鼎 談 「ヒロシマの記憶をどう伝えていくか」
（登壇者：渡邊 英徳氏×アーサー・ピナード氏×庭田 杏珠さん）

申込方法／来館、電話、FAX、ホームページの専用フォームからの申込（令和元年7月2日（火）9:00から受付開始）

※手話通訳、要約筆記が必要な方は、7月9日（火）までにお申し込みください。

※申込に際しての個人情報はこの関連イベントのみに使用し、他に提供することはありません。

※この関連イベントは、広島市高齢者いきいき活動ポイント対象事業です。



渡邊 英徳氏

東京大学大学院情報学環教授。株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメント、首都大学東京システムデザイン学部准教授などを経て、2018年より現職。「ヒロシマ・アーカイブ」「東日本大震災アーカイブ」「沖縄戦デジタルアーカイブ」などを制作。広島女学院高校でのワークショップ「ヒロシマ・アーカイブ」と「戦前の広島の白黒写真のカラー化」で講師を務める。

日本賞、グッドデザイン賞、アルスエレクトロニカ、文化庁メディア芸術祭などで受賞・入選。岩手日報社との共同研究成果は日本新聞協会賞を受賞。



アーサー・ピナード氏

詩人。アメリカ・ミシガン州生まれ。ニューヨーク州のコルゲート大学で英文学を学び、卒業と同時に来日、日本語での詩作を始める。詩集『釣り上げては』（思潮社）で中原中也賞、『日本語ほこりほこり』（小学館）で講談社エッセイ賞、『ドームがたり』（玉川大学出版部）で日本絵本賞を受賞。

主な作品は、エッセイ集『亜米利加ニモ負ケズ』（日本経済新聞出版社）、『アーサーの言の葉食堂』（アルク）、絵本『さがしています』（童心社）、『はじまりの日』（岩崎書店）、紙芝居『ちっちゃい こえ』（童心社）など。

RCCテレビ「イマなまっ!」にコメンテーターとして出演している。



庭田 杏珠さん

広島女学院高等学校3年生。渡邊英徳氏の指導の下、「ヒロシマ・アーカイブ」の作成や「記憶の解凍」ARアプリの制作に中心メンバーとして取り組む。首都大学東京大学院生と共同制作した作品「記憶の解凍:カラー化写真で時を刻み、息づきはじめるヒロシマ」が国際平和映像祭（UFPFF）2018で学生部門賞を受賞。

お問い合わせ・関連イベントの申込

広島市立中央図書館

広島市中区基町3番1号

TEL 082-222-5542 FAX 082-222-5545

<http://www.library.city.hiroshima.jp/>

